



萩市須佐地域

公民館だより

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

令和8年

7月

第636号

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

11年ぶりの 須佐ふれあいコンサート開催！



竜馬、中島剛、西山健一・真二兄弟が奏でる演奏…

《今月の話題》

○四重奏の演奏に魅了

「須佐ふれあいコンサート」・・・1、2P

○須佐地区、弥富地区スポーツ大会・・・3P

○サツマイモの苗植え体験！・・・4P

○山岡保治の今昔物語「イワシ漁」・・・9P

○新コーナー「協力隊だより」・・・9P

○須佐中全校生徒がボランティア活動・・・10P



親子室から観覧する親子

4人の演奏者に癒される…

須佐ふれあいコンサート大盛況!

6月21日(日)、須佐文化センターホールで、11年ぶりとなる「須佐ふれあいコンサート」が開催され、約320名の来場者がありました。このふれあいコンサートは、平成19年にオーストラリア在住のMASSAKIさんのヴァイオリンコンサートから始まり、メンバーを入れ変えながら10年続けて来りましたが、11年目のコンサートで一端、区切りをつけました。

そして今年、念願のコンサートを久しぶりに開催することとなりました。最初に登場したのは、2回目



ショパンやリストの曲を弾く中島さん

からコンサートをずっと支えてこられた、ピアニストの中島剛さんです。中島さんは、平成25年7月の豪雨災害の後、いち早く須佐に駆けつけて下さいました。今、中島さんは、東邦音楽大学准教授として活躍する傍ら、森山良子さんなどのサポートや子ども達のピアノの先生としても、大変人気ようです。久しぶりの中島さんのピアノに、来場者の方も音を懐かしみ、うっとり聞き入られていました。



観客席の間で演奏する竜馬さん

次は、ヴァイオリニストの竜馬さんです。須佐でのコンサートは初めて。これまで、三丁目の夕日や龍馬伝、ファイナルファンタジーなど300本以上の映像作品の音楽演奏を

されておられ、「竜馬四重奏」という4人グループの「NEO ZIPANGU」として、海外にも進出されています。

竜馬さんは、おしゃべりも得意で、サッカーの森保監督との交流もあり、当日お昼過ぎから、日本対チュニジア戦の試合を、コンサート直前までテレビ中継で見ておられ、その話題も話の種として話されるなど、とてもチャーミングで気さくな方でした。

ヴァイオリンの演奏はもちろん、ステージから観覧席へ移動され、来場者へのサービス精神旺盛。コンサート後の竜馬さん直々の物品販売も好評で、約2時間の間で来場者を虜にされていました。

そして最後は、NHK交響楽団メンバーの双子の兄弟、西山健一さんと真二さん。チェロとコントラバスの二重奏も拔群!お二人は、ジブリの曲やデイズニーの曲も演奏。ちなみに兄の健一さんは、一度ふれあいコンサートへ出演されたことがあります。

また、6月末まで大河ドラマの「豊臣兄弟!」で、最後の紀行コーナーでの演奏を担当されていた曲も披露して下さいました。

最後は4人の演奏者が揃い、懐かしい曲が流れてきました。初回から、このふれあいコンサートを担ってこ



左から西山健一さん、真二さん



演奏者と記念写真：椋さん、福島さん、山本さん、上田さん

初回から始まった頃のことを思い出し、ジーンと思わず涙が出そうになりました。会場はもう大拍手の嵐に…。そして、最後の花束贈呈で、心に残るコンサートが幕を下ろしました。「ほんとうに感動した」「久しぶりにこんな素敵な音色が聞けてよかった!」と来場者も喜んでおられました。

スポーツ大会で リフレッシュ！

6月7日（日）に須佐地区、弥富地区でそれぞれスポーツ大会が行われ、楽しいひと時を過ごされました。

須佐地区ソフトバレーボール

須佐スポーツ振興会須佐支部主催による須佐ソフトバレーボール大会が、須佐中学校体育館で開催されました。今年は、地区や職場、さらに中学生や高校生のチームも含め、9チームがエントリーしました。

開会式では、須佐中学校3年生の福島葉乃さんが、元氣よく選手宣誓を務めました。



相手のアタックに2人がかりでブロック！

試合が始まると、皆さん心地よい汗を流しながら、チーム一丸となって楽しそうにプレーされている姿がとても印象的でした。

予選から白熱した好ゲームが続きましたが、特に勝ち上がった4チームによる決勝トーナメントはさらにレベルアップ！思わず「おーっ！」と声が出るほどの見応え抜群の試合展開となりました。

鋭いアタックやブロック、そして粘り強いレシーブが炸裂するたびに、観客からも歓声が沸き起こり、会場全体が盛り上がりました。

そんな大激戦を制し、見事栄冠を勝ち取ったのは「JAM」の皆さんです！本当におめでとうございませう！試合の結果は以下の通りです。

【大会結果】

優勝…JAM
準優勝…スポーツ振興会A
3位…JP

今大会も怪我なく、参加者全員が無事笑顔で終わることができました。選手の皆さん、そして温かい応援を届けてくださった地域の皆さん、本当に疲れ様でした！

これからもスポーツを通じて、須佐地区をどんどん盛り上げていきましょう！

弥富地区対抗

グラウンドゴルフ大会



一方、弥富交流促進センターでは、田植えの泥落としと親睦を兼ねた、体力づくり弥富地区対抗グラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日が雨模様という予報だったため、事前に会場を弥富グラウンドから弥富交流促進センターに変更し、室内グラウンドゴルフを実施することになりました。

今回は、10地区から14チームの参加があり、応援、役員等を含め約80名が集う大会となりました。

ホールは、交流促進センターの多目的ホールに3ホール、廊下に2ホール、研修室に3ホール設定しました。会場が狭く、応援や見学する人の場所の設定が難しかったです。

試合は7チームずつに分け、各チームが2ゲームずつプレーしその合計打数で競いました。室内グラウンドゴルフをするのは初めてという方が多くおられましたが、距離が短いことや下が平坦ということもあり、皆さん上手にプレーをされ、ホールインワンが24も出ました。

プレーをされていない皆さんは、ベンチや椅子に座られ和気あいあいと会話されたり、素晴らしいショットに拍手を送ったりしている姿も数



廊下でプレーする参加者たち

多く見られました。また、各地区の役員さんのお陰で、子どもの参加もあり大会を盛り上げてくれ、楽しいひと時を過ごすことができました。参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。結果は次のとおりです。

☆団体

優勝／12区

準優勝／6区

☆個人

1位／日田知信（12区）

2位／立野美徳（6区）

3位／原田和夫（8区）



「大きくなあれ！」

須佐地区・弥富地区で サツマイモ苗植え体験！

毎年この時期、須佐地区、弥富地区それぞれ、子ども達がサツマイモの苗を植えています。今から秋の収穫が楽しみです。

須佐地区



5月26日（火）、今年も育英小学校の3、4年生13名が、グラウンド横の元気農園で、サツマイモの苗を植えました。

最初に、須佐公民館の吉田館長より植え方の説明があった後、早速、児童たちは地域の方に見守っていたきながら、苗を植えていきました。



慎重にサツマイモの苗を植える子ども達



手慣れた様子の苗植え

今年は、100本のサツマイモ紅はるかを2畝（うね）50本ずつ植えました。植え始めは、少し不安げな様子でしたが、そばで地域の方が「こうやって植えて」と指導していただいたおかげで、2本目からは速いテンポで植えていき、あっという間に、2畝植え終わると、「まだ植えたい！」という児童の声があり、もう1畝、植えてもらいました。

「収穫したら、何して食べたい？」と聞くと「焼きイモ！」と、毎年同じ答えが返ってきました。大きなイモに成長することを願い、今から収穫の日が楽しみです。

弥富地区

6月4日（水）、弥富公民館放課後子ども教室で農事組合法人弥富5区の皆さんにご協力いただき、サ

ツマイモの苗植えを今年も行いました。当日は午前中まで雨が降り、畑はぬかるんだ状態でしたが、地元弥富5区の皆さんのご指導のもと、子ども達は手馴れた様子で、元気に苗植えに取り組みました。

今回植えたさつまいもの種類は鳴門金時。甘みが強くおいしい品種として知られており、秋には収穫を行う予定です。苗を植えた後は水やりを丁寧に行い、さらに成長を助けるためにシート張りも体験しました。

子どもたちは農作業の楽しさと自然の大切さを改めて実感し、「秋の収穫が楽しみです」と笑顔を見せました。

地域の方々の交流も深まり、和やかな時間となりました。最後に、お礼のあいさつをした後、5区の皆さんと一緒に集合写真を撮りました。農事組合法人弥富5区の皆様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



指導していただいた5区の皆さんと一緒に記念撮影

公民館学級

エアープランツの育て方

須佐あおば勉強室

6月16日（火）、萩市内の石田正明さんを講師に、園芸教室を行いました。久しぶりの園芸教室に、参加者は20名。今回は、「エアープランツの板付け」を行いました。

エアープランツは、パイナップルの仲間で、一生涯に一度しか花を咲かさず、最初のエアープランツが枯れるまでに1、2つの子株を残すそうです。上手に育てるとその子株が大きくなって花を咲かし…というふうに、何年もそれを繰り返し生きていく貴重な植物だそうです。

参加者は、石田さんの説明をしっかりと聞き、用意していただいた木の板に針金を使って付けていき、大事に育ててください。



「葉に触らないように板付けしましょう」と石田さん



折り紙で風鈴づくり

つどい会

6月10日（水）、夏がそろそろ近づいてきたので、少しでも涼を感じれるものを作ってみたいなと思い、今回は、折り紙を使って風鈴を作りました。まず皆さんには好きな柄の折り紙を選んでもらい、画用紙を折り紙に見立てて説明をしながら一緒に折り進めていきました。折り方は、折り目をつけては広げて、また折り目をつけてと同じ作業の繰り返しです。はあったのですが、折れ線が増えるのと、今どこに折れ線を折ったのかわ



風鈴を作る参加者たち

からなくなったりと、皆さん苦戦されていました。

各テーブルで、教えあいつこをしながら進め、何とか一人一つのかわいい風鈴を作ることができました。一つ作ると、もう一つ作ってみたいとの声があつたので、二つ目の風鈴に挑戦する方もいらつしやいました。

みなさんチャレンジ精神が旺盛で「どうだったけ...」「こうだったね!」「私折り紙苦手なのよね」と話しながらも折り紙に没頭されていました。

完成した折り紙を竹ひごに通して飾ると、色とりどりの風鈴が風になびいてとても可愛くできました。地域の方も「これはみんなで作ったのかわいいね」と好評です。

8月末まで多目的室前のパネルに展示していますので、皆さんの力作をぜひ見に来てください。

今回のランチは、和風ポテサラや、もずく酢のスープなどさっぱりとした献立で、デザートもなつみかんの寒天もツルつと食



メインは大皿の鶏肉と白菜の煮物

べることができました。なお、今回から、食中毒予防のため、料理の持ち帰りは出来なくなりました。



生き生き教室編

6月3日（水）の歩こう会は、お隣の小川地区を歩いてきました。天気予報では雨は9時には上がるというので、車で弥富から向かっていたのですが、「弥富の方に雨雲みたいな雲がかかっているね...」「天気予報は晴れるって言うていたのにね...」と少し不安になりながら小川に向かっていくと、弥富公民館の近くで少し大きい雨粒が降り出し、「これは歩けないかもしれないな」とさらに不安になりました。

しかし、梅の木トンネルを抜けると少し雨脚が弱くなり、空も明るくなってきたので、今回は傘を差しながら歩くことにしました。

まず小川の支所「みのり」から阿北苑方面に進み、阿北苑の前の道路を上ノ原方面に向けて上がり、武氏八幡宮横を通り、龍鱗郷まで歩きました。農免道路から武氏八幡宮までは、霧雨も降っていました。木陰もありそこまで暑いということもなく、歩くことができました。八幡宮



小川の龍鱗郷で記念写真

をすぎて、龍鱗郷までの道は、木陰もなくまっすぐの道を歩きました。霧雨も降ったり止んだり、止んだかと思つて傘を閉じると降ったりと、雨に振り回されながら歩を進めていきました。

龍鱗郷まで歩き、展望スペースも行ってみようと思つたと、柱状節理がずらつと並び、「すごいねえ」「少し草が茂つてはいるけど、ほんとにずらつとあるね」などと話をしました。龍鱗郷を見た後は、みのりに向けて歩いて帰りました。今回はいつもより長い距離ではありましたが、皆さん話しながら、散策を楽しまれました。

2年目の 小・中学校運動会開催



5月30日（土）、育英小学校で今年2年目となる小・中合同運動会が開催されました。今年度から、開催時期も暑さ対策のため、2学期から1学期へと早めることとなりました。5月に入ってから真夏のような気温になる日もあり、運動会当日も、雲一つない晴天とはなったものの、涼しい風も吹いており、テントの中や建物の陰に入ると少し肌寒いくらいで、子ども達にとっては、最高の運動会日和となりました。

最初の競技は、もちろん徒競走。保護者の方もスマホを構え、自分の



一生懸命走る児童たち

子どもが走るのをビデオにして撮らせていました。

小学1年〜3年の児童による玉入れでは、最初に「チエツチエツコリ」のダンスを取り入れた玉入れ競技となっており、音楽が流れ始めると、お尻を振りながらのチエツコリダンスが始まり、ダンスを一通り踊った後、玉入れが行われました。



保護者の必死な姿に圧倒...

今度は保護者も加わり、親子で一緒に玉入れが始まりました。保護者もチエツコリダンスを踊った後、一斉に玉入れ開始！玉入れのかごは、大人の背丈より少し高い程度。玉を拾って背伸びをすればかごに届く高さです。したがって、最後は赤白ともにかご山盛りいっぱい玉が入り、両者引き分けとなりました。

中3の

親子競技では、赤白に分かれて親子で平均台や輪投げに挑戦した後、各色事に横並び、二人三脚の拡大版でゴールに向かって突進みます。しかし赤組は、なかなか足がそろわず、3分の1くらいで全く動かなくなる場面も...。そこは保護者が主導し、何とかゴールまでたどり着くことができました。



途中で足が動かなくなり、苦戦する赤組

また、迫力のあった応援合戦では、小学校の赤白、中学校の赤白に分かれ、それぞれ個性のある応援合戦が見られました。

応援合戦の後には、いよいよ終盤にかけて更に盛り上がっていきます。

小学生、中学生、それぞれのリレー対決。そして最後の競技、小中合同競技、大玉おくりです。

リレーは、最後まで勝敗がわからず、見応えたっぷり。



中学生リレー：どちらもいい勝負です！



タイヤの上に大玉を早く乗せるのは...

最後に赤白どちらかが早く大玉をタイヤの上に乗せた方が勝つ。児童も生徒も最後の競技に全力を注いでいました。総合優勝は、赤組が勝ちましたが、どちらも悔いのない、精一杯やりきった顔をしていました。



旧 須佐町中央公民館

洪水を防ぐための工夫

須佐の洪水対策として、考えられたのは遊水地(※洪水の時に一時的に水をためて下流に流れる水の量を減らすためのものです。ふだんは水田などに利用していて、洪水のときだけ水がたまるしくみになっています。)もその一つです。また、本町上には、洪水の際下流に水が流れることを防ぐ土塁が設置されていました。これは、須佐の領地を守るために益田家が考えた洪水から命を守る工夫でした。

平成25豪雨災害は人災・・・？

先月号でもお話しましたが、須佐の町にも洪水から身を守る工夫がされていることにも関わらず、それを知らなかった近世の人達は、便利さを優先し、遊水地に国鉄の線路を



須佐市中細見図に見る遊水池

敷き、おまけに国道まで設置してしまいました。本来水を一時的に貯める箇所に、大きなダムを造ったことになります。これでは、貯める水どころの話ではありません。流れを堰

き止めることになります。それが今回の水害で松原まで浸水してしまっただけの原因の一つです。

約200年前に起きた文政4年の教訓は、須佐の古地図にも残され、先人たちのメッセージは活かされることなく今回の災害に遭遇することとなりました。

昭和の時代にも、立派な方は沢山おられたと思いますが、せめて歴史に詳しい方がおられたら、鉄道や国道の設置方法(水が抜ける方法等)に対して一工夫あれば、今回の災害が軽減されていたに違いないと考えます。いずれにせよ過ぎてしまったことは仕方ありませんが、これからの防災計画の中に活かすことも必要かと思われます。

平成25年災害を活かそう！

あの豪雨災害から今年で、13年目になります。記憶はどんどん遠のき、災害は毎年全国の地域で起こって珍しくありません。

須佐の災害の後は、助けてもらった恩返しに、新たな被災地にボランティアに行かなければならないと思いつつ、結局どこへも行っていないのが現実です。

今思うに、あの時(13年前)何回命を落としかけたかと思うと今でも「ゾッ」とします。

豪雨災害を振り返ってみて、一番大切なのは、自分の命かなと思います。「命あつての物種(いのち)あつてのものだね」とことわざにもあるように、自分の命を守ること他人の命も守ることが根本だと思えます。命の宛替えはできません。

「次代に伝えたい102人の証言集」貸し出します。

今回、平成25年の山口県北部豪雨災害の記録をまとめる際に、災害の生き証人でも住民の皆さんの体験を募集し、応募者102名の証言を過日まとめた冊子をふるさとづくり協議会が資料にしました(平成27年1月)。

もう一度、お読みになりたい方は、須佐公民館又は弥富公民館までお問い合わせ下さい。貸し出しをいたしますので気軽に声を掛け下さい。

山口県北部豪雨災害記事は今回で終了します。次回からは、公民館事業を受託しているNPO法人の経緯についてです。

まちあるき



「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラが、わが町を紹介します。今回は、前回に引き続き「禁門の変と須佐」須佐兵達の活躍を紹介します。

禁門の変敗戦のようす

この禁門の変では、敗戦による総崩れの中で、陸上又は淀川の船上で長州兵は、追討軍に殺された者も数知れず居りました。ついに、7月21日には、新撰組や会津、桑名藩兵に包囲された天王山の真木和泉らも、本営に火を放って切腹し、後には黒こげになつた死体17体が転がっていたといわれています。このわずか一日足らずの戦闘で、砲火に見舞われた京都市中は混乱を極めました。

焼失した戸数は、公卿の屋敷だけでも数十戸、市中では2万8千戸に

達し、火災は31日朝まで続いて、鴨川の河原や諸街道は避難民であふれました。



志士たちが激闘した京都御所

この禁門の変では、長州の敗残兵掃討のために、幕府軍が放った火で下京一帯は灰燼（かいじん）／灰や燃え殻）に帰し、京都市中に大きな損害を与えました。

孝明天皇は逆上され、砲弾への恐怖が變じて長州藩と過激派への憎悪（ぞうお／憎しみ）に変わられました。7月21日には、激しい長州藩追討の勅令（朝廷から命令）が出されました。

これを受けた幕府も、同24日には、まず西南の21藩で朝命（朝廷の

命令）を伝えて出撃準備を命じ、場合によっては長州藩内に侵入して誅滅（ちゅうめつ／罪ある者を打ち滅ぼす）してもよいと宣言しました。こうして、長州藩は明白な朝敵となつてしまつたのです。

一方7月14日、海路三田尻を出航し多度津（現香川県）に到着した世子定広公（藩主敬親の子）と五卿は21日敗報に接したので、急遽船を返して三田尻に帰りました。

27日世子が到着すると毛利敬親公は、長府公、徳山公、清末公等と協議しました。その席に吉川監物公（岩国藩主／幕府との仲介役）からの使者も加わり三家老の責任問題が討議されました。

このように300名の軍勢を引き連れ堂々と須佐を出陣した益田親施公の主力に、敵と一戦も交えず敗走し、全軍ばらばらになつて帰邑（須佐に帰る）しました。との記録が残っています。

益田親施公のこの時の心境は如何であつただろうか。「旦那様御様子有之」と「遂行日記」にあることを推測してみると、

①藩主父子の免罪を晴らせなかつたこと（八月十八日の政変）。

②真木、来嶋ら過激派を鎮撫（しず

めることのできなかつたこと。

③藩主父子が朝敵として追討される事に至ったこと。

④敗軍をまとめる暇もなく、打ち捨てて敗走帰国したことなどに対して親施が責任を感じていたことを表していると思われます。

222

随
行
日
記
と
は
・
・
・

益田右衛門介（親施）が藩主毛利敬親の命で兵600名を率いて上京するにあたり、陣場奉行波田兼明が書残した陣中（禁門の変）日記です。

隨行日記
元祐元年
甲子集日

富縣秦漢

元治元年七月
且班孫生又今被
若郡標京外進充
供供出供供
御農博一供供一
七月
萬多陳明奉行所
要子五人於一月
累子云客來江戶
立拜今日
立拜學石
騎馬
府中牛雲止宿
山口旅飯中刻

昭和101年

山岡保治

今昔物語



2

カメラで昭和を追う・・・

この時期になると須佐漁協も賑わっていました。きんちやくによるイワシ漁が始まるからです。船が港に着くと、漁師の奥さんも総出でイワシの処理をし、加工場に回されます。作業が終わると市場で遅い朝食です。何を話していたのか・・・内容が聞こえそうです。



イワシは船からトロ箱へ



作業の後のくつろぎは・・・



イワシの豊漁です・・・

まいど！



須佐の皆様の
心温まるお話を
紹介します！

地域おこし協力隊の山本です。今から新コーナー「わたしのちいさな喜び@須佐」を始めます！このコーナーでは、須佐地域にお住まいの皆様の日々の生活にあるちよつとした喜びや、心温まる自慢話を、数珠繋ぎ形式でお届けしていけたら嬉しいなと考えています。

記念すべき第1回目は、僕のご近所さん、Yさんの喜びをお届けします。

「初めて良いサイズの玉ねぎができました！」と公民館でYさんがとてもいい顔で仰られていたので、思わずお話を聞きたくなり、ご自宅へ伺わせていただきました。

「家庭菜園、玉ねぎ作りなんてみんなやってるし、そんな自慢できるものじゃないよ」とYさんは謙遜されていましたが、吊るされている玉ねぎは僕から見るととても立派！「今まではこれぐらいやったんよ」と両手の親指と人差し指で輪をつくつ

て説明して下さったサイズは直径約6センチ。それが今年は一と回りもふた回りも大きく、スーパーに並んでいてもおかしくない見た目。退職されて20年、毎年つくられていたそうですが、今回は植える数を減らし、4月に入ってからでも、牛糞堆肥や化成肥料をしっかりと効かせた事が良い結果に繋がったのではないかと言われていました。

今は軒先で丁寧に乾かされていて、この後、じゃがいもの収穫を待ってお子さんの所へ送られるそうです。お孫さんには写真を送って「じーちゃんすこいね！」と喜んでもらえたそうで、本当に嬉しいように話してくださいました。

家庭菜園をコツコツと楽しみ、家族を想うYさんの温かい笑顔に、僕までなんだか嬉しい気持ちになった第1回目でした。次回もお楽しみに！
おおきに！



案山子がお出迎え。
100均のお面を使った
迫力ある作品は猿だけでなく
悪者も寄せ付け
ないでしょう・・・？

地域トピックス

須佐中学生が ボランティア活動



6月5日（金）、須佐中学校の全校生徒が3つの班に分かれ、地域内でボランティア活動を行いました。

この活動は、自らが住む地域に愛着を持つとともに、地域をきれいにすることで地域に貢献することを狙いとして、主に生徒会が中心として企画・運営をされています。

今年は、須佐公民館と須佐駅、須佐保健センターの3か所に分かれて活動されました。活動日までの準備として、各班のリーダーが活動場所へ赴き、責任者と当日の打ち合わせを行いました。

また防災無線でも、地域の皆さんに呼びかけを行っていました。

須佐公民館では、花壇の周りの落ち葉掃きと草取りをお願いしていました。ちょうど午後1時から、放課後子ども教室のスタッフが、花壇の土づくり作業を行っていたところ、生徒さんの方から、「何かできることはありませんか」と声をかけられ、せっかくなので肥料袋を運んでいただったり、肥料を土と一緒に混ぜ込んでいただったり、積極的にお手伝いしていただき、スタッフの方も



肥料運びを手伝う生徒たち



歩道脇の草取り

とても助かっていました。

また、須佐文化センター脇と歩道に生えている雑草を、

地域の方と一緒に取ったりしていました。

隣の須佐保健センター前でも、他の班のグループが、落ち葉を掃いたり、かまで草を刈ったりしている姿も見られました。

約1時間程でしたが、生徒たちは、やり切ったという達成感を、そして地域住民は、子ども達が頑張ってくれたという感謝とで、また新たな絆が出来たことと思います。

この活動が、ずっと続けていければいいですね…。

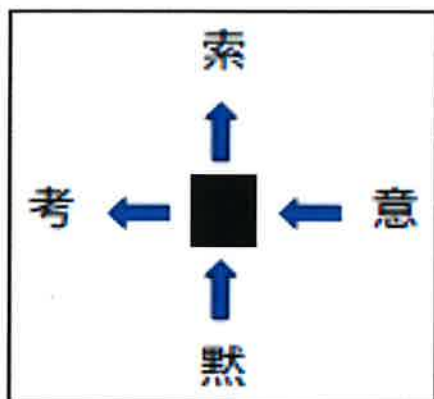
お家時間を楽しく過ごそう！

さあ、このコーナーは、『クイズ』で楽しみましょう！

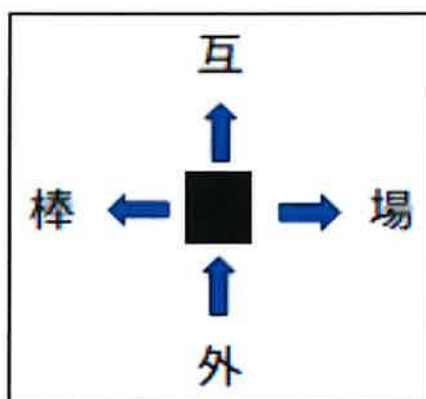
今回も「漢字クイズ」です。それでは：

次の①～④の■に入る漢字を解き、解いた4つの■でできる「四字熟語」を作りなさい。（答えは、最終ページに記載）

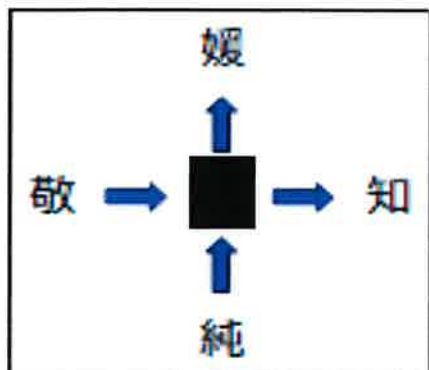
①



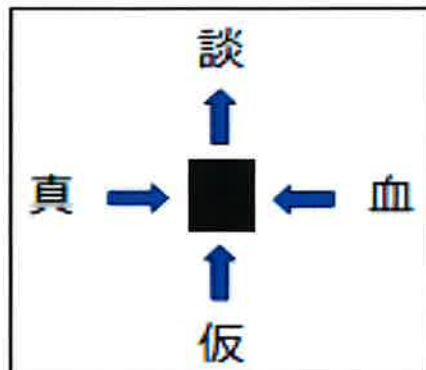
②



③



④



生涯学習作品コーナー



第35回生涯学習発表会 作品紹介



「紫陽花（あじさい）」
おもしろ習字教室から



「ホルンフェルス」
柴田壽子（水海）

※なお、生涯学習発表会の詳しい内容については、
来月号に掲載します。おたのしみに！

【俳句】

葉櫻の漏れて輝く青き空

（山根丁東） ゆめはるか

【短歌】

庭先の石南花一輪手のひらに

乗せて眺めし心和ます

（青葉台） 田村雅利



生前の労を讃えられ嬉しさに

遺影に向かえど露みて見えず

（山根丁東） ゆめはるか



大塚 均（1911－1998）

SL 切手シリーズ C58・D52

SLシリーズ切手は、蒸気機関車（SL）を題材にした記念切手シリーズです。1974年から1975年にかけて発行されたもので、全10種で構成されています。

第2集は、ローカル線で幅広く利用されたC58形と、大型マレー式のD52形が登場します。D52は最大級のSLとして有名でした。

昭和50年2月25日20円記念切手が発行された。大塚均63歳の作品です。



須佐の偉人伝 大塚 均

112

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均（山根丁東出身）さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

2026		7月		地域カレンダー		須=須佐公民館 学=学校・保育園行事 子=子ども対象行事		弥=弥富公民館 ス=スポーツ関係 弥G=弥富グラウンド		生=生き生き教室 保セ=保健センター			
日曜日		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
★7月は『社会を明るくする運動』月間 犯罪や非行の防止や非行をした人たちの更生について理解を求め、それぞれの立場で力を合わせて、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。						1 つどい会 10:00 須 スマホクラブ 13:30		2 生き生き体操 8:45		3 		4 社会を明るくする運動パレード	
5		6 ピンポン 13:30		7 		08 歩こう会 8:45 須 色えんぴつ画 13:30		09 須 習字教室 10:00		10 弥 さつき学級 10:00 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30		11	
12 須 韓国カフェ 13:30		13 須 スマホ相談所 8:30 エコクラブ 9:30 ピンポン・ポッチャ 13:30		14 須 パッチサークル 9:30		15 須 ポッチャ教室 (須公) 19:00		16 須 さつき学級 13:30 無料法律相談 (田万川)		17 弥 我が家の手作り教室 9:30 小・中学校終業式 行政相談(弥富) 10:00		18	
19 須 須佐ポッチャ大会 (須公) 8:30 家庭の日		20 海の日 弥 子ども会(鈴野川) 9:30		21		22 須 色えんぴつ画 9:30 音楽療法 13:30 弥 G・Gを楽しむ会 9:30		23 弥 スマホ相談所 AM		24 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30		25	
26 		27 エコクラブ 9:30 ピンポン・ポッチャ 13:30		28 須佐湾大花火大会 (須佐豪雨災害13周年)		29 弥 G.Gを楽しむ会 9:30		30 須 パッチサークル 9:30		★夏の交通安全県民運動 (7/11~20)			

●我が家の手作り教室(弥富)
「手作りうどんに挑戦！」

○とき 7月17日(金) 午前9時30分

○ところ 弥富交流促進センター

○講師 齊藤洋子(9区)

○申込み 7月10日(金) までに弥富公民館へ

●弥富さつき学級
「交通安全教室」
「変わる交通ルールと安全な暮らし」

○とき 7月10日(金) 午前10時から

○ところ 弥富交流促進センター

○講師 弥富駐在所 所長 袈裟丸篤史
萩警察署交通課職員

○持ち物 室内履きシューズ (雨天の場合)

○申込み 7月6日(月) までに弥富公民館 ☎2044へ

●のびのび教室・夏休み特別企画
「竹食器づくりとそうめん流し」

○とき 8月7日(金) 午前10時(現地集合)

○ところ 久原園地

○参加費 300円

○申込み 8月3日(月) までに須佐公民館へ

※親子での参加歓迎！

※クイズの答え＝相思相愛

毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「19日」です
★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R8.5月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	903戸	1,568人	(△3人)
弥富	204戸	378人	(△1人)
合計	1,107戸	1,946人	(△4人)

昨年比 世帯数△23人 人数△56人

編集後記

今年も緑のカーテンリユウキユウアサガオが勢いよく窓際のネットに登っています。15年間綺麗な花を咲かせていますが、最近感じることはありません。基本種があるはずですが、多くは根から出たツルが根を下ろし子孫を増やそうとしています。しかし、根から伸びたツルはけつして自らは上には登ろうとはしません。ちゃんと植物の中の役割が備わっているものと思われまふ。

何はともあれ、今年も灼熱の日差しを遮ってくれれば良いですね。